

令和5年度 現代の国語 シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
現代の国語	2単位(70時間)	1学年	第一学習社 『新編 現代の国語』
科目の目標	1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 2. 論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

月	単元名	主な単元の目標 (評価規準)	教材	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等	
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関 心・ 意 欲・ 態 度	話 す・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識・ 理 解		
4 ・ 5	新しい出会い	・目的や場に応じて適切な話題を決め、伝え合う内容を検討すること。	オリエンテーション				授業の進め方や評価のつけ方について、説明を受ける。 相手から必要な情報を聞き取り、それを他の人に伝えることができる。	○					○	・行動の観察
		・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。(B書くこと(1)ウ) ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えとともに、表現の仕方を工夫すること。(B書くこと(1)ウ) ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知識・理解(1)ウ)	「未知」はいくらでもある		6			1. 自分の考える「最初の一步」について具体的な事例を取り上げて書く。 2. 新出漢字や語句を使うようにする。 3. 自分の経験を振り返って書こうとしている。	○		◎			○
6 ・ 7	言葉が開く世界	・考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの状況に応じて話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。(A話す・聞く(1)オ) ・考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの状況に応じて話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。(A話す・聞く(1)オ) ・話し言葉と書き言葉の特徴をふまえ、わかりやすさや敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを理解し、使うこと(知識・理解(1)イ)	言語としてのピクトグラム		10		1. 3つの写真から1つを選び、本文の内容を踏まえて修正案を話し合う。 2. 互いの意見を伝え合うためにコミュニケーションをとっている。 3. 積極的に話し合いに参加しようとしている。	○	◎				○	・行動の観察・分析 ・記述の点検 ・単元テスト
		・自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。(B書くこと(1)ウ) ・自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫すること。(B書くこと(1)ウ) ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解すること。(知識・理解(1)ア)	言葉の海のオノマトペ		8			1. 本文にあるオノマトペ以外を例にし、筆者の言う意味の違いを説明する。 2. 言葉には認識や思考を支える働きがあることを知る。 3. 自ら具体例を探し、説明しようとしている。	○		◎			○
9 ・ 10	人間の風景	・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。(B書くこと(1)ウ) ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えとともに、表現の仕方を工夫すること。(B書くこと(1)ウ) ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知識・理解(1)ウ)	十六歳のとき		8		1. 筆者の体験を読んで、考えたことを書く。 2. これまでに学んだ漢字や言葉を使う。 3. 自分の意見を自分の言葉で書こうとしている。	○		◎			○	・行動の観察 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
		・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしようとしている。(B書くこと(1)エ) ・目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。(B書くこと(1)エ) ・文、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解すること。(知識・理解(1)オ)	臆病な詩人、街へ出る		10			1. 本文の内容をふまえ、自分の生き方や人生について、自分の考えをエッセイにまとめる。 2. 文の効果的な組み立てや接続の仕方を考える。 3. 自分の思いを伝えるために、表現などを工夫しようとしている。	○		◎			○
11 ・ 12	社会と人間	・文章の種類を踏まえて、内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。(C読むこと(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。(C読むこと(1)ア) ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。(知識・理解(2)ア)	弱いロボットの誕生		6		1. 筆者の伝えたいことを読み取る。 2. 自分の思いを的確に表す語句を見つける。 3. 筆者の意見を自分なりに読み取ろうとしている。	○			◎		○	・行動の観察 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
		・目的に応じて内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めようとしている。(C読むこと(1)イ) ・目的に応じて内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めること。(C読むこと(1)イ) ・表現するために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること(知識・理解(1)エ)	人はなぜ仕事をするのか		6			1. 筆者の仕事観を学ぶ前後で自分の考えに変化があったか、その理由も書く。 2. 自分の気持ちや考えを適切に表す語を探す。 3. 内面の変化を自分の言葉で表そうとしている。	○			◎		○
1 ・ 2 ・ 3	現代と社会	・目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。(A話す・聞く(1)ア) ・目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(A話す・聞く(1)ア) ・話し言葉や書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使うこと。(知識・理解(1)イ)	イースター島になぜ森がないのか		10		1. イースター島の教訓をふまえて、これからの社会にどんなことが必要か話し合う。 2. 他の人の意見を聞きながら、自分の考えを深めている。 3. 自分のなりに意見を考え、伝えようとしている。	○	◎				○	・行動の観察・分析 ・記述の点検 ・単元テスト
		・文章の種類を踏まえて、内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。(C(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。(C(1)ア) ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する	「材料化学」のゆくえ		6			1. 小見出しをヒントに内容を要約する。 2. 接続詞や具体例などをヒントに筆者の意見を読み取る。 3. 本文の内容を適切にまとめようとしている。	○			◎		○

令和5年度 現代の国語 シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
現代の国語	2単位(70時間)	1学年	数研出版『現代の国語』
科目の目標	1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 2. 論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	普通科	

月	単元名	主な単元の目標 (評価規準)	教材	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等	
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く 能力	書く 能力	読む 能力	知識・ 理解		
4		・目的や場に応じて適切な話題を決め、伝え合う内容を検討すること。	オリエンテーション	1			授業の進め方や評価のつけ方について、説明を受ける。 他己紹介で、相手から必要な情報を聞き取り、それを他の人に伝えることができる。	○	◎					・行動の観察
	書き手の意図をつかむ	・文章を読んで、構成、展開を的確にとらえ、筆者の主張、文章の要点を読み取るようにする。 (内容 C 読むこと(1)ア) ・文章を読んで、構成、展開を的確にとらえ、筆者の主張、文章の要点を読み取る。 (内容 C 読むこと(1)イ) ・話し言葉や書き言葉の特徴や表現の特色をふまえ、わかりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 (内容 知識及び技能(1)イ)	目指す世界の地図をつくること ものづくり			5	1. 主題と主張をとらえることができる。 2. 目指す世界の地図をつくるために、どんなことが必要なのか、それを得るために、どんな高校生活を送りたいかが書ける。	○			◎	○		・行動の分析 ・記述の分析 ・定期考査
5 ・ 6 ・ 7	文章の展開を把握する	・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して伝え合う内容を検討しようとしている。 (内容 A 話すこと・聞くこと(1)ア) ・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して伝え合う内容を検討すること。(内容 A 話すこと・聞くこと(1)イ) ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解すること。 (内容 知識及び技能 オ)	時間とは何か			6	1. 接続語に注意して、論の展開を読み取る。 2. 「時間感覚が人によって違う」ということがなぜ起こるのか、グループで考える。	○	◎				○	・行動の観察・分析 ・記述の点検 ・定期考査
	対比を読み取る	・目的に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。 (内容 B 書くこと(1)ア) ・目的に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。 (内容 B 書くこと(1)イ) ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き言葉を豊かにすること(内容 知識及び技能 エ)	水の東西 里山物語			7	1. 日本と西洋の水に対するとらえ方の違いを読み取る。 2. 水のほかに、日本と西洋の違いを感じさせるものをあげ、その違いをレポートにまとめる。	○		◎			○	・行動の観察 ・記述の分析 ・定期考査
9 ・ 10 ・ 11	コミュニケーションと言葉	・読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫しようとしている。(内容 B 書くこと(1)イ) ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 (内容 B 書くこと(1)イ) ・主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと(内容 知識及び技能 ウ)。	世間話はなぜするか			5	1. 具体例と意見を分けて、読み取ることが出来る。 2. 世間話は必要か、本文の内容をふまえて自分の意見をまとめる。	○			◎	○		・行動の分析 ・記述の点検 ・定期考査
	日常の中の文章	・目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。 (内容 B 書くこと(1)ア) ・目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。 (内容 B 書くこと(1)イ) ・話し言葉や書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使うこと。 (内容 知識及び技能(1)イ)	広告コピーを書く 表現の工夫を読み取る(新聞)			6	1. 久米島の特産品について、広告コピーを作る。 2. 久米島で紹介したいことやニュースを新聞記事にする。	○		◎		○	・行動の観察 ・記述の分析 ・広告コピー、新聞記事 ・定期考査	
	言葉の働きをとらえる	・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの状況に応じて表現や進行など話し合いの仕方を工夫しようとしている。 (内容 A 読むこと(1)オ) ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの状況に応じて表現や進行など話し合いの仕方を工夫すること。 (内容 A 読むこと(1)イ) ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解すること。(内容 知識及び技能(1)ア)	語感トレーニング コインは円形か			6	1. 筆者の主張を読み取り、言葉で表現するときに気を付けなければならないことを説明する。 2. 和語・漢語・外来語などを複数あげ、その語感の違いを話し合う。	○	◎				○	・行動の観察・分析 ・記述の点検 ・定期考査
	書き手の考えを比較する	・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。(内容 C 読むこと(1)イ) ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。(内容 C 読むこと(1)イ) ・主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(内容 知識及び技能 ウ)	科学と非科学			6	1. 筆者の言う「科学的な態度」とは何かを読み取ることができる。 2. 二つの文章から「科学的な姿勢」とはどのようなものか、共通点をまとめて説明する。	○			◎	○	・行動の観察 ・記述の分析 ・定期考査	
1 ・ 2	根拠を読み取る	・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。 (内容 B 書くこと(1)エ) ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 (内容 B 書くこと(1)イ) ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること(内容 知識及び技能(1)ア)	「差」という情報			7	1. 「差」の持つさまざまな効用について読み取る。 2. 筆者のあげる「差」のもつ効用をひとつあげ、自らの体験を具体例にして、その効用について説明する。	○			◎	○	・行動の観察 ・記述の分析 ・定期考査	
3	根拠を読み取る	・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫しようとしている。 (内容 A 話すこと・聞くこと(1)イ) ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。 (内容 A 話すこと・聞くこと(1)イ) ・話し言葉の特徴や表現の特色を踏まえ、正確さ、適切さ、継続と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 (内容 知識及び技能(1)イ)	「わらしべ長者」の経済学			6	1. 意味段落に分け、小見出しをつけることができる。 2. 筆者の主張に対してどう思うか、話し合う。	○	◎			○	・行動の分析 ・記述の点検 ・定期考査	

令和5年度 言語文化 シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
言語文化	2単位(70時間)	1学年	第一学習社 『新編 言語文化』
科目の目標	1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化について理解する。 2. 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	園芸科	

月	単元名	主な単元の目標 (評価規準)	教材	領域(時間)		主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点				評価方法等
				A (書くこと)	B (読むこと)		関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	知識・理解	
4・5		・目的や場に応じて適切な話題を決め、伝え合う内容を検討すること。	オリエンテーション			授業の進め方や評価のつけ方について、説明を受ける。 相手から必要な情報を聞き取り、それを他の人に伝えることができる。	○			○	・行動の観察
	新しい出会い	・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方などを捉え、内容を解釈しようとしている。(B読むこと(1)イ) ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方などを捉え、内容を解釈すること。(B読むこと(1)イ) ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知識・理解(1)ウ)	島の少年一船		5	1. 物語の内容に沿って、智之の人物像を読み取る。 2. 新出漢字や重要語句を書き、短文にできる。 3. 本文から自分なりに読み取ろうとしている。	○		◎	○	・行動の観察 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
	古文入門	・文章の種類を踏まえて、内容について叙述を基に的確に捉えようとしている。(B読むこと(1)イ) ・文章の種類を踏まえて、内容について叙述を基に的確に捉えること。(B読むこと(1)イ) ・古典の正解に親しむために、古典を読むための必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解すること(知識・理解(2)ウ)	鳩と蟻のこと『伊曾保物語』		4	1. 鳩は何を悟ったのか、読み取る。 2. 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。 3. 古文の文章に興味を持って触れようとしている。	○		◎	○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
6・7	漢文入門	・文章の構成や表現の特色について理解しようとしている。(B読むこと(1)ウ) ・文章の構成や表現の特色について理解すること。(B読むこと(1)ウ) ・古典の正解に親しむために、古典を読むための必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること(知識・理解(2)ウ)	訓読に親しむ(一)～(二)		5	1. 訓読の基本を習得する。 2. 基本的な訓読の方法を理解する。 3. 訓読の方法を習得しようとしている。	○		◎	○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
	小説を読む(二)	・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を深めようとしている。(B読むこと(1)エ) ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を深めること。(B読むこと(1)エ) ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。(知識・理解(1)エ)	羅生門		7	1. 心情曲線を用いて、下人の心の変化を読み取る。 2. 文脈に沿って言葉を理解する。 3. 下人の心情を積極的に読み取ろうとしている。	○		◎	○	・行動の観察 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
	古文入門	・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方などを捉え、内容を解釈しようとしている。(B読むこと(1)イ) ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方などを捉え、内容を解釈すること。(B読むこと(1)イ) ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。(知識・理解(2)ウ)	一休ばなし		6	1. 二人の問答を正しく理解している。 2. 文の切れ目、単語の切れ目を意識して音読できる。 3. 本文に基づいて、一級のとんちを理解しようとしている。	○		◎	○	・行動の観察・分析 ・記述の点検 ・単元テスト
9・10	故事成語	・作品や文章の成立した背景をふまえ、内容音解釈を深めようとしている。(B読むこと(1)エ) ・作品や文章の成立した背景をふまえ、内容音解釈を深めること。(B読むこと(1)エ) ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。(知識・理解(2)イ)	五十歩百歩		5	1. それぞれが何を例えたものなのかを考え、この話で伝えたいことは何かを考える。 2. 訓読の決まりを理解して書き下し文にできる。 3. 時代背景をふまえて内容理解を深める。	○		◎	○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
	詩の楽しみ	・自分の体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現しようとしている。(A書くこと(1)ア) ・自分の体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現すること。(A書くこと(1)ア) ・目的に表現するために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること(知識・理解(1)エ)	道程		3	1. 自分なりに作品を作り、皆で講評し合う。 2. さまざまな作品にふれることで表現の方法や語彙を豊かにする。 3. 自分の思いを的確に表すために表現を工夫しようとしている。	○	◎		○	・行動の観察・分析 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
	短歌と俳句		大切な言葉 手毬歌		3		○	◎		○	
11・12	随筆を読む	・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(B読むこと(1)オ) ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。(B読むこと(1)オ) ・言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること(知識・理解(2)エ)	はしたなきもの『枕草子』		5	1. 作者が「はしたなき」と思うものを読み取り、現代人の感覚で捉え直す。 2. 現代語の「はしたない」との意味の違いや変遷を知る。 3. 作者のものの見方と自分の見方を比較して考えようとしている。	○		◎	○	・行動の観察 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
	漢詩の鑑賞	・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。(B読むこと(1)エ) ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。(B読むこと(1)エ) ・日本の文化と外国の文化との関係について理解すること。(知識・理解(2)ア)	静夜思 送元二使安西 春望 香炉峰下新卜山居草堂初成偶東望		9	1. それぞれの漢詩について、自分の感想を書く。 2. 漢詩の決まりや表現の方法を理解する。 3. 詩を解釈し、感じたことを自分の言葉で表現しようとしている。	○		◎	○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
	小説を読む(三)	・自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の構成や語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。(A書くこと(1)イ) ・自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の構成や語句などの表現の仕方を工夫すること。(A書くこと(1)イ) ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知識・理解(1)イ)	よだかの星		5	1. よだかはなぜ星になることができたのか、を説明する。 2. 本文に即して言葉の意味を考える。 3. 本文を読んで、自分の考えを発表しようとしている。	○	◎		○	・行動の観察・分析 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
1・2・3	和歌と俳諧	・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、日本の言語文化について自分の考えをもつこと。(B読むこと(1)オ) ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、日本の言語文化について自分の考えをもつこと。(B読むこと(1)オ) ・古典に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などを理解すること。(知識・理解(1)イ)	万葉・古今・新古今		8	1. 作品の一つを選び、鑑賞文を書く。 2. 和歌の修辞や表現の仕方を考える。 3. 歴史的背景や文化的背景をふまえて、自分なりに書こうとしている。	○		◎	○	・行動の観察・分析 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
	寓話・小話	・文章の種類を踏まえて、内容や展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。(B読むこと(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、内容や展開などについて叙述を基に的確に捉えること。(B読むこと(1)ア) ・古典に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などを理解すること(知識・理解(1)イ)	梟逢鳩		5	1. どのような意味が込められているのか、読み取る。 2. 置き字や再読文字に注意して書き下し文にする。 3. 本文から、こめられた意味を読み取ろうとしている。	○		◎	○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト

令和5年度 言語文化 シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
言語文化	2単位(70時間)	1学年	数研出版 『言語文化』
科目の目標	1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 2. 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	普通科	

月	単元名	主な単元の目標 (評価規準)	教材	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等	
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く 能力	書く 能力	読む 能力	知識・ 理解		
4		・目的や場に応じて適切な話題を決め、伝え合う内容を検討すること。	オリエンテーション				授業の進め方や評価のつけ方について、説明を受ける。	○						・行動の観察
	説話集を読む楽しみ	・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。(内容 B 読むこと(1)イ) ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。(内容 B 読むこと(1)イ) ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深める。(内容 知識及び技能(1)ウ)	兎のそら寝			5	1. どこがどのように面白いかが自分でまとめる。 2. 歴史的仮名遣いに気をつけて音読ができる。	○			◎	○		・行動の観察 ・記述の点検 ・定期考査
5 ・ 6 ・ 7	日本語の中に生きる漢文	・作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方や考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。(内容 B 読むこと(1)オ) ・作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方や考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。(内容 B 読むこと(1)オ) ・わが国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(内容 知識及び技能(1)ウ)	格言			5	1. 訓読の決まりを習得する。 2. 印象に残った格言を選び、その理由と評価を書く。	○			◎	○		・行動の観察 ・記述の点検 ・定期考査
	故事と成語	・作品や文章の性散るした背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めようとしている。(内容 B 読むこと(1)エ) ・作品や文章の性散るした背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めること(内容 B 読むこと(1)エ) ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。(内容 知識及び技能(1)ア)	漁夫の利 虎の威を借る			6	1. 背景をふまえて内容の理解を深める。 2. その他の故事成語を調べ、その意味や故事を発表する。	○			◎	○		・行動の観察・分析 ・記述の点検 ・定期考査
	受け継がれる古典	・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関連を踏まえ、内容を解釈を深めようとしている。(内容 B 読むこと(1)エ) ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関連を踏まえ、内容を解釈を深めること。(内容 B 読むこと(1)エ) ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること(内容 知識及び技能(1)エ)	羅生門			5	1. 下人の心の変化を読み取る。 2. 『今昔物語集』『羅城門』との違いを指摘し、それが小説にどのような効果をもたらしているかがわかる。	○			◎	○		・行動の観察 ・記述の点検・分析 ・定期考査
	現代にも生きる教え	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。(内容 B 読むこと(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。(内容 B 読むこと(1)ア) ・わが国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深めること。(内容 知識及び技能(1)ウ)	徒然草「ある人、弓射ることを習ふに」			5	1. 用言の活用を習得する。 2. 筆者の主張を読み取り、戒めが通用する具体例の一つあげる。	○			◎	○		・行動の観察 ・記述の点検・分析 ・定期考査
9	漢詩を味わう	・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めようとしている。(内容 B 読むこと(1)エ) ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めること。(内容 B 読むこと(1)エ) ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあること。(内容 知識及び技能(1)ア)	孟浩然 李白 王維 杜甫			7	1. 漢詩の形式やきまり、作者について知る。 2. 詩の読まれた背景を踏まえた内容を理解する。	○			◎	○		・行動の観察 ・記述の分析・分析 ・定期考査
	「ことば」を吟味する	・作品の内容や解釈を踏まえ、わが国の言語文化について自分の考えを持つこと。(内容 B 読むこと(1)オ) ・作品の内容や解釈を踏まえ、わが国の言語文化について自分の考えを持つこと。(内容 B 読むこと(1)オ) ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(内容 知識及び技能(1)イ)	舟を編む			3	1. 本文にそくして主人公の人物像をとらえる。 2. 一つの言葉をあげ、その意味を自分なりの言葉で説明する。	○				○		・行動の観察 ・記述の分析 ・定期考査
10	昔と変わらない人の心	・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。(内容 B 読むこと(1)イ) ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。(内容 B 読むこと(1)イ) ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。(内容 知識及び技能(1)オ)	伊勢物語「筒井筒」			6	1. 助動詞を理解する。 2. それぞれの歌について、誰がどのような気持ちを込めて読んだのかをまとめる。	○			◎	○		・行動の観察 ・記述の点検 ・定期考査

11	論語のことば	<ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。(内容 B 読むこと(1)オ) 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。(内容 B 読むこと(1)オ) 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。(内容 知識及び技能ア) 	論語		6	<ol style="list-style-type: none"> 否定形を習得する。 孔子の考え方を理解する。 	○			◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察 記述の点検 定期考査
	語感を磨く	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価しようとしている。(内容 B 読むこと(1)ウ) 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。(内容 B 読むこと(1)ウ) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(内容 知識及び技能ア) 	側転と三夏		3	<ol style="list-style-type: none"> 主人公の心情の変化を読み取る。 主人公の心情を表す語句で印象に残った言葉をあげ、それに対する批評や評価を書く。 	○			◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察 記述の分析 定期考査
12	和歌が作り出す世界	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料を吟味して表現したいことを明確にしようとしている。(内容 A 書くこと(1)ア) 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料を吟味して表現したいことを明確にすること。(内容 A 書くこと(1)ア) 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。(内容 知識及び技能オ) 	三大和歌集		4	<ol style="list-style-type: none"> 一つ取り上げて鑑賞文を書く。 三大和歌集のそれぞれの特徴を知る。 				◎		<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察 記述の分析 定期考査
	詩歌を味わう	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料を吟味して表現したいことを明確にしようとしている。(内容 A 書くこと(1)ア) 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料を吟味して表現したいことを明確にすること。(内容 A 書くこと(1)ア) 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。(内容 知識及び技能オ) 	サーカス 短歌 俳句		6	<ol style="list-style-type: none"> 人々の生き方に対するの感想を書く。 短歌や俳句の中から一つ選び、鑑賞文を書く 				◎		<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察 記述の分析 定期考査
1・2	先人を思う旅	<ul style="list-style-type: none"> 作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。(内容 B 読むこと(1)エ) 作品や文章の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。(内容 B 読むこと(1)エ) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深めること。(内容 知識及び理解(1)ウ) 	おくのほそ道「平泉」		5	<ol style="list-style-type: none"> 助動詞を理解する。 平家物語や杜甫などの文学的背景をふまえて、芭蕉の句の理解を深める。 	○			◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察 記述の点検・分析 定期考査
	地域のことば	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。(内容 B 読むこと(1)ア) 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。(内容 B 読むこと(1)ア) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(内容 知識及び理解(1)ウ) 	とんかつ		2	<ol style="list-style-type: none"> 方言からどんな印象を受けるか。 親子二人の、それぞれの変化を読み取る。 				◎		<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察 記述の点検 定期考査
3	「ことば」の力	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価しようとしている。(内容 B 読むこと(1)ウ) 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。(内容 B 読むこと(1)ウ) 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。(内容 知識及び理解(1)ウ) 	葉桜と魔笛		2	<ol style="list-style-type: none"> 「私」の心情を読み取る。 口笛は誰によるものだと思うか、ディベートをする。 	○			◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 行動の観察・分析 記述の点検 定期考査

令和5年度 国語表現 シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
国語表現	2単位(70時間)	2学年	
科目の目標	1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 2. 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	園芸科	大修館書店『国語表現』

月	単元名	主な単元の目標 (評価規準)	教材	領域(時間)		主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点				評価方法等	
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く 能力	書く 能力	知識・ 理解		
4		・目的や場に応じて適切な話題を決め、伝え合う内容を検討すること。	オリエンテーション			授業の進め方や評価のつけ方について、説明を受ける。 相手から必要な情報を聞き取り、それを他の人に伝えることができる。	○				○	・行動の観察
		・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、伝え合う内容を検討しようとしている。(A話す・聞く(1)ア) ・目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること。(A話す・聞く(1)ア) ・自分の思いや考えを表現するために必要な語彙を増やすこと。(知識・理解(1)ウ)	自己紹介ゲーム	2		1. 目的に応じて話題を整理して、自己紹介をする。 2. 自分の思いや考えを表現するための語句を増やす。 3. 積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。	○	◎			○	・行動の観察・分析
	伝える・伝え合う	・相手の反応に応じて言葉を選んだりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫しようとしている。(A話す・聞く(1)エ) ・相手の反応に応じて言葉を選んだりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。(A話す・聞く(1)エ) ・言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解すること。(知識・理解(1)ア)	言葉のストレッチ体操	6		1. 相手の反応に応じて伝える内容を検討し、表現を工夫する。 2. 言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを知る。 3. 目的に応じて相手とコミュニケーションをとろうとしている。	○	◎			○	・行動の観察・分析
5・6	言葉と出会う	・自分の思いや考えを的確に描写したり説明したりするために、表現の仕方を知らうとしている。(B書くこと(1)オ) ・自分の思いや考えを的確に描写したり説明したりするために、表現の仕方を知らうこと。(B書くこと(1)オ) ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深めること。(知識・理解(1)イ)	レッスン1～5		7	1. 文章を書くときに必要な基本事項を習得する。 2. 話し言葉や書き言葉の違いを理解し、使い分ける。 3. 文章を書くときに必要な事項を積極的に習得しようとしている。	○		◎		○	・行動の観察 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
		・目的や意図に応じて、適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしようとしている。(B書くこと(1)ア) ・目的や意図に応じて、適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確すること。(B書くこと(1)ア) ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(知識・理解(1)エ)	通信文を使い分ける		5	1. 通信文についての基本事項を理解し、手紙を書くことができる。 2. 目的や場面に応じた表現や言葉遣いを使い分けている。 3. さまざまな表現に興味を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○		◎		○	・行動の観察 ・記述の分析・点検
7		・相手の反応や状況に応じて言葉を選んだりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫しようとしている。(A話す・聞く(1)エ) ・相手の反応や状況に応じて言葉を選んだりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。(A話す・聞く(1)エ) ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割を理解し、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。(知識・理解(1)イ)	電話をつかひこなす		3	1. 基本的なマナーをふまえて、対応の仕方を理解する。 2. 話し言葉と書き言葉、敬語を適切に使う。 3. 電話での効果的なやりとりの仕方に興味を持っている。	○	◎			○	・行動の観察・分析
	メディアを駆使する	・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察しようとしている。(A話す・聞く(1)エ) ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。(A話す・聞く(1)エ) ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。(知識・理解(1)イ)	電子メールを活用しよう		3	1. 電子メールのメリット・デメリットを話し合う。 2. 実用的な文章について、特徴や構成について理解する。 3. 話し合いに積極的に参加しようとしている。	○	◎			○	・行動の観察・分析
		・互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。(A話す・聞く(1)キ) ・互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。(A話す・聞く(1)キ) ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(知識・理解(1)エ)	ネット社会との付き合い方		6				◎			
9・10・11		・互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。(A話す・聞く(1)キ) ・互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。(A話す・聞く(1)キ) ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(知識・理解(1)エ)	ネットを活用した情報収集		3	1. 1つのニュースについてメディアの取り上げ方の違いを話し合う。 2. メディアの特徴や情報収集の祭の注意点を理解する。 3. 自らの違いを読み取ろうとしている。		◎				・行動の観察・分析
		・自分の考えを明確にし、的確に描写したりするなど表現の仕方を工夫しようとしている。(B書くこと(1)オ) ・自分の考えを明確にし、的確に描写したりするなど表現の仕方を工夫すること。(B書くこと(1)オ) ・自分の考えを多様に表現するために必要な語句の量を増やし、実際に使うことで、語感を磨き語彙を豊かにすること。(知識・理解(1)ウ)	言葉で遊ぶ		5	1. 日本語の言葉遊びを知り、自分なりのものを作る。 2. 語句の量を増やし、実際に使うことで語感を磨き、語彙を豊かにすること。 3. 日本語の特徴に興味を持ち、自らの作品を作ろうとしている。	○		◎		○	・行動の観察・分析 ・記述の点検
12・1		・論点を明確にして自分の考えと比較しながら危機、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A話す・聞く(1)オ) ・論点を明確にして自分の考えと比較しながら危機、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりすること。(A話す・聞く(1)オ) ・言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解すること。(知識・理解(1)ア)	無人島で生き残れ		6	1. 自分の意見を持って話し合いに参加し、相手の意見を参考にして考え直すことができる。 2. 言葉を使って、相互理解を深められることを知る。 3. 主体的に意見を考え、積極的に話し合いに参加している。	○	◎			○	・行動の観察・分析 ・記述の点検
	表現を楽しむ	・読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、表現の仕方を工夫しようとしている。(B書くこと(1)ク) ・読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、表現の仕方を工夫すること。(B書くこと(1)ク) ・自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増やし、実際に使うことで語感を豊かにすること。(知識(1)ウ)	日常生活の正しい過ごし方 ユーモアトリセツを書こう		9	1. 適切な具体例を用いて自分なりのトリセツを作ることができる。 2. 自分の思いを多様に表現するために語感を磨き、語彙を豊かにすること。 3. 自ら積極的に語彙や表現を工夫しようとしている。			◎			・行動の観察 ・記述の点検・分析
2・3		・目的や意図に応じて、実社会の問題に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしようとしている。(B書くこと(1)ア) ・目的や意図に応じて、実社会の問題に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にすること。(B書くこと(1)ア) ・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(知識・理解(1)エ)	魅力的なポスターを作ろう		9	1. 基本事項をふまえて久米島をアピールするポスターを作る。 2. ポスター作成時の基本的な事項を理解する。 3. 何を伝えたいのかを意識しながら、表現されている。	○		◎		○	・行動の観察 ・記述の点検

令和5年度 論理国語 シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
論理国語	2単位(70時間)	2学年	
科目の目標	1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 2. 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	普通科	大修館書店 『新編 論理国語』

月	単元名	主な単元の目標 (評価規準)	教材	領域(時間)		主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点				評価方法等	
				A (書くこと)	B (読むこと)		関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	知識・理解		
4	論理と出会う	・目的や場に応じて適切な話題を決め、伝え合う内容を検討すること。	オリエンテーション			授業の進め方や評価のつけ方について、説明を受ける。 相手から必要な情報を聞き取り、それを他の人に伝えることができる。	○				○	・行動の観察
			「論理的な人」とはどういう人か 「論理」への第一歩		7	1. 論理についての筆者の考えを読み取る。 2. 学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。 3. 「論理的な人」になるにはどうすればよいかを自分なりに考えている。	○		◎		○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
5 ・ 6	具体と抽象	・内容や構成、論地の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握しようとしている。(B読むこと(1)ア) ・内容や構成、論地の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握すること。(B読むこと(1)イ) ・論証したり学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。(知識・理解(1)イ)	ウサギの耳はなぜ長い?			1. 「共進化の実相」を筆者はどのように捉えているか説明する。 2. 具体と抽象を理解する。 3. 接続表現などを用いて具体例を効果的に使おうとしている。	○		◎		○	・行動の観察・分析 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
			米の種類と食文化 対話の精神		2	1. 筆者の意見に反対の立場の人をするための文章が書ける。 2. 対比表現の効果を理解し、使うことができる。 3. 効果的な文章のために適切な具体例や対比構造を模索している。	○	◎			○	・行動の観察 ・記述の分析・点検
7	対比をとらえる	・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、論理的の展開を工夫しようとしている。(A書くこと(1)ウ) ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、論理的の展開を工夫すること。(A書くこと(1)ウ) ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めること。(知識・理解(1)ウ)					○	◎			○	・行動の観察・分析 ・単元テスト
					7		○	◎			○	・行動の観察・分析 ・単元テスト
9 ・ 10	主張をつかむ	・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性を吟味して内容を解釈しようとしている。(B読むこと(1)ウ) ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性を吟味して内容を解釈すること。(B読むこと(1)ウ) ・主張とその前提など情報と情報との関係について理解を深めること。(知識・理解(2)ア)	文化としての科学			1. 筆者の考えの根拠をまとめる。 2. 主張とその前提の関係について理解する。 3. デジタル社会についての自分なりの考えを深めようとしている。	○		◎		○	・行動の観察 ・記述の点検
			「考える葦」であり続ける		7					◎		○
11	統計資料を活用する	・関連する資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めようとしている。(B読むこと(1)オ) ・関連する資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。(B読むこと(1)オ) ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解をふかめ使うこと。(知識・理解(2)イ)	量の時代から質の時代へ			1. 資料をもとに、その関係について話し合う。 2. 情報の重要度などを整理している。 3. 課題に積極的に取り組もうとしている。				◎		・行動の観察・分析 ・記述の分析
			若者の「海外旅行離れ」は本当か?		7		○		◎		○	
12 ・ 1	比べて読む	・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえようとしている。(A書くこと(1)イ) ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえよること。(A書くこと(1)イ) ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。(知識・理解(2)ア)	紙の本はなくなるならない			1. 紙の本は必要か不要か、根拠を示して自分の意見を書く。 2. 二つの文章を要約し、情報を整理する。 3. 筆者の考えをふまえ、自分なりの意見を書こうとしている。	○	◎			○	・行動の観察・分析 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
			情報化と紙の本のゆくえ		7		○	◎			○	
2 ・ 3	論理的に書く	・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わるぶんしょうになるよう工夫しようとしている。(A書くこと(1)オ) ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わるぶんしょうになるよう工夫すること。(A書くこと(1)オ) ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。(知識・理解(1)A)	小論文①			1. 総合的な探究の時間で取り組んだ自分の課題をテーマに小論文を書く。 2. 論点を明確にして、自分の意見を相手に伝えるように書く。 3. 自分の意見を伝えるために、論の展開などを工夫している。	○	◎			○	・行動の観察 ・記述の分析・点検

令和5年度 古典探究 シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
古典探究	2単位(70時間)	2学年	
科目の目標	1. 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方を知り、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		大修館書店 『新編 古典探究』

月	単元名	主な単元の目標 (評価規準)	教材	領域 (時間)	主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点			評価方法等
						関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解	
4・5	説話	・目的や場に応じて適切な話題を決め、伝え合う内容を検討すること。	オリエンテーション		授業の進め方や評価のつけ方について、説明を受ける。 相手から必要な情報を聞き取り、それを他の人に伝えることができる。	○	◎	○	・行動の観察
		・書き手の考えや目的、意図を捉えて、内容を解釈しようとしている。(A(1)ウ) ・書き手の考えや目的、意図を捉えて、内容を解釈すること。(A(1)ウ) ・和歌のリズムや修辞などの表現の特色について理解を深めること。(知(1)イ)	大江山いくのの道 『十訓抄』	5	1. 編者の言葉は読み手に何を伝えようとしたのか。 2. 説話の特徴と和歌のリズム、修辞を知る。 3. 本文に即して自分の意見を考えようとする。 探究:「歌枕を調べて、その表現について評価を行う」	○	◎	○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
		・古典の作品を多面的・多角的な視点から評価することで、言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)ク) ・古典の作品を多面的・多角的な視点から評価することで、言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)ク) ・古典の作品の種類とその特徴について理解を深めること。(知(1)イ)	安倍晴明 『今昔物語集』	6	探究:同じ場面を読み比べ、媒体によるそれぞれの表現の違いを話し合う。	○	◎	○	・行動の観察・分析 ・記述の点検
5・6	故事・逸話	・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。(A(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。(A(1)ア) ・古典などを読むことを通して、我が国の文化と中国などの外国の文化との関係について理解を深めること。(知(2)ア)	知音	3	1. 伯牙が琴を演奏しなくなったのはなぜか、読み取る。 2. 故事成語の成り立ちについて知る。 3. 故事成語に興味を持ち、普段の生活にいかそうとしている。 探究:他の故事成語を調べ、紹介する。	○	◎	○	・行動の観察・分析 ・記述の点検 ・単元テスト
		・古典の作品などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)カ) ・古典の作品などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ) ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。(知(2)エ)	今日はそのことをなさんと思へど 『徒然草』	3	1. 筆者の意見について、自分の体験をふまえて妥当性を評価する。 2. 随筆の特徴を理解する。 3. 自らに引きつけて筆者の意見を考えようとしている。 探究:教材とは別の段を選び、自分の体験に結びつけて考えたことを発表する。	○	◎	○	・行動の観察・分析 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
7	近体詩	・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)エ・カ) ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)エ・カ) ・古典を読むために必要な訓読の決まりや日本の文化と中国の文化との関係について理解を深めること(知(2)ア・イ)	竹里館 峨眉山月歌 登岳陽樓 咸陽城東樓	5	1. 漢詩の背景や表現方法をふまえ、内容を理解する。 2. 漢詩の形式と表現、詩仙・詩聖・詩仙について知る。 3. 作品の背景などを踏まえて、内容を理解し、自分に照らして味わおうとする。 探究:必要な事項を調べ、推敲を重ねながら鑑賞文を書く。	○	◎	○	・行動の観察 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
9	物語	・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察しようとしている。(A(1)エ) ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。(A(1)エ) ・古典の作品に表れている、和歌の修辞などの表現の特色について理解を深めること。(知(2)ア)	初冠 『伊勢物語』	7	1. 「かくいちはやきみやび」とは、男のどのような行動を指して言っているか。 2. 和歌の修辞を確認し、共通点と相違点を整理する。 3. 内容や当時の時代背景などをふまえ、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。 探究:当時の「みやび」とはどのようなものか、調べる。	○	◎	○	・行動の観察・分析 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
10	史伝	・歴史書であることを踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。(A(1)ア) ・歴史書であることを踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。(A(1)ア) ・歴史書における我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。(知(2)ア)	鴻門の会(一)沛公 項王に見ゆ 鴻門の会(一)樊噲目を瞞らして 項王を見る 『史記』	18	1. 登場人物それぞれの人物像をとらえる。 2. 中国における歴史書の意味と日本の影響を知る。 3. 文章を深く読み込み、自分の力で読み取ろうとしている。 探究:項羽と劉邦どちらが、リーダーにふさわしいかをディベートする。	○	◎	○	・行動の観察・分析 ・単元テスト
11	日記	・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)カ) ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)カ) ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めること。(知(2)イ)	門出 『更級日記』	5	1. 作者の心情を心情曲線を用いて表現し、説明する。 2. 心情を表す形容詞を理解する。 3. 作者の心情を自ら読み取ろうとしている。 探究:形容詞の一つを選び、その成り立ちと意味を調べる。	○	◎	○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
12	文章	・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)カ) ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)カ) ・形容詞を中心に、時間の経過による言葉の変化や古典が現代の言語の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。(知(2)ウ)	桃花源記	5	1. なぜ村への行き方を尋ねる人がいなくなったのか。 2. 中国と日本の文化との関係について理解する。 3. 作品にこめられた作者の意図を読み取ろうとしている。 探究:中国と日本の作品にあらわれる桃について調べ、その特徴をあげる。	○	◎	○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト
1	和歌・歌論・歌謡	・和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、日本の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)ク) ・和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、日本の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)ク) ・和歌に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。(知(1)エ)	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	7	1. それぞれの和歌が詠まれた背景や表現方法を読み取る。 2. 三大和歌集の特徴やそれぞれにある和歌の修辞を理解する。 3. 自ら調べ、まとめようとしている。 探究:和歌の一つ選んでその背景や表現などを説明し、鑑賞文を作る。	○	◎	○	・行動の観察 ・記述の分析・点検 ・単元テスト
2・3	思想	・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について読み取ろうとしている。(A(1)ウ) ・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について読み取ること。(A(1)ウ) ・古典の文の成文の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について誓いを深めること。(知(1)ウ)	論語 老子 荘子	6	1. それぞれの思想をふまえて内容を理解する。 2. 例えや問答が、考えを伝えるうえでどのような効果があるかを知る。 3. それぞれの思想の違いを理解しようとしている。 探究:儒教や老荘思想について調べ、発表する。	○	◎	○	・行動の観察 ・記述の点検 ・単元テスト

令和5年度 国語表現 シラバス

教科	国語	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	園芸科3年1組
使用教科書	『国語表現 改訂版』（教育出版）				
副教材等	『現代の語彙力向上の壺』（尚文出版）				

1 学習の到達目標

- ①「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れたうえで、「読むこと」との関連も視野に入れ、適切に表現する力を育成し、伝え合う力を高めるための、表現する側と表現される側と双方からの立場での実際的なコミュニケーション学習を中心に、高等学校でのすべての学習を支える基礎力を養う。
- ②伝え合う力を高めるための実際的なコミュニケーションを想定した学習を中心に、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、すすんで表現する態度を身につけ、社会性を高める。

2 授業の内容と学習法

- 書き取り・聞き取りをメモにまとめる、要約など、最も基本的な言語能力の確認。
 - 発音・発声から、スピーチ、プレゼンテーション、その場に応じた会話・発言や発表など、実際的な「話すこと・聞くこと」に関する言語表現の訓練と学習。
 - コラム、小論文やレポート、自分史、手紙など、実際的な「書くこと」に関連する言語表現の訓練と学習。
 - ことば遊びや川柳・広告コピーなど、身近な題材から広がる言語表現を、より深める訓練と学習。
 - 会議、面接など、具体的な場を想定した適切な言語表現を、より深める訓練と学習。
 - 情報を入力し、適切に使いこなし、それを活かす方法の訓練と学習。
 - 日本語の基礎となる言語表現の方法・能力・知識に関する学習。
- 以上の内容を、主として講義と実習を通して学習するが、適宜作品応募を通して自己の表現力を向上させる取り組みを行う予定である。

3 評価の視点・考査について

- 評価は、提出物等を中心に、出席状況や授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）、発言や提言などを総合的に判断して行う。
- 作品応募を前提とした課題を課す予定である。提出物は、期限厳守とする。

評価の観点及び内容	評価方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、すすんで表現したりするとともに、伝え合おうとしているか。 ・課題に積極的に取り組み、また、人の発言をよく聞くとともに、自分の考えを発言しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への出席状況 ・取り組み態度 ・発言の意欲とその内容 ・提出物
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に「話すこと・聞くこと」の学習に取り組んでいるか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて効果的に話したり的確に聞き取ったりできたか。 ・「スピーチ」「プレゼンテーション」といった活動に参加し、決められた役割をこなして成果をあげることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み態度 ・発言の仕方や内容 ・レポート ・音読や朗読など ・自己評価と相互評価
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に「書くこと」の学習に取り組んでいるか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができるか。 ・「コラム」「小論文」「レポート」「自分史」「手紙」などといった課題を完成できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み態度 ・定期考査 ・レポート、作品等提出物 ・自己評価と相互評価
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に「読むこと」の学習に取り組んでいるか。 ・文章を読むことによって、より適切な表現をするために、自分の考えをまとめたり深めたりすることができるか。 ・文章サンプル集等や実際に読むことを通じて、表現力を高めることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・音読や発言 ・提出物 ・自己評価と相互評価
知識	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけることができるか。 ・特に、漢字や語句に対する理解を広げることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト

4 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと ★〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

月	単元名	教材	領域	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	主な評価方法
4	オリエンテーション・自己紹介		A	<ul style="list-style-type: none"> 客観的に自己を見つめ、他者に伝えるように説明をする。 相手の話を聞き、相手を理解する。 	発表
	ことばに変える	教科書 演習ノート	B	<ul style="list-style-type: none"> 速く正確に、書かれたとおりに書き写す／聞いた通りに書き取る メモを取る／メモで伝える／適切なメモ 絵をことばにする／絵をことばに変える／部屋の間取りをことばに変える 	発表 提出
5		教科書 演習ノート	A B	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の中でも最も基礎的な「視写」「聴写」を行い、自己の表現能力の実態を把握する。 情報を取捨選択し、整理・記録する為の基本的な技術を確認する。 絵や部屋の間取りをことばに変える作業を通して、ことばによる表現の可能性と限界を理解する。 	発表 提出
	声の表現	教科書 演習ノート	A ★	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸の仕組みと腹式呼吸の方法について理解し、発音に留意した声の出し方を学ぶ。 声を発することの本質について深く考える。 文の構造を把握し、その意味を伝える音読の仕方、特に声の高低や間の工夫について学ぶ。 古文の読み方についても基本となる留意事項を理解する。 スピーチのための事前準備について理解し、実際に本番を体験することで、その方法を学ぶ。 他者の興味関心をひく文章の紹介と朗読の工夫について習熟する。 	取組 発表
6	コラムを書く、本を作る	教科書 演習ノート	B C	<ul style="list-style-type: none"> 他者を喜ばせる文章の特性を知る。 コラムを読み、文章の魅力と効果的な手法を見つける。 よりよい文章表現を工夫し、コラムを書く。 基礎的な推敲の方法について理解する。（悪文チェック） 「17歳のメッセージ」等への応募 	取組 提出 作品応募
7	ことば遊びと創作	教科書 演習ノート	A B C ★	<ul style="list-style-type: none"> 様々なことば遊びの体験を通して、言語表現の多様な側面を理解し、またその楽しさを知る。 川柳という伝統的な文芸ジャンルについて理解を深めるとともに、実作を通して、ことばの持つ批評性を知る。 情報化社会における広告の意味とその特徴を理解し、「広告コピー」を作成することで、情報を客観的にとらえ、批評的に読み取れることを学ぶ。 古典文学への誘いとして、俳句の季語を著名な句の鑑賞とともに学び、創作・作品応募する。 	制作 提出
9	ことばと人間	教科書 演習ノート	A B C	<ul style="list-style-type: none"> ことばのもつ順序性からことばの性質について考える。 単語の順序が意味決定を左右することを理解する。 場面における意味決定について理解する。 語源カードを作成し、辞書・辞典を使って語源調べを行う。 挨拶や待遇表現のことばが人間関係の調整にどのように働いているか考える。 ことばの可能性と危険性についてさまざまな角度から考える。また、ことばが人間の命を左右するほどの力を持つことを理解する。 	取組 発表
	小論文・レポートを書く	教科書 演習ノート	B	<ul style="list-style-type: none"> 発想・着想段階における拡散的思考を体験的に学ぶ。 根拠を明確にし、意見に説得力を持たせるとともに、対立意見を想定しながら、自らのそれを明確にし、論証の確かさを鍛える。 小論文の構成について理解し、論理的文章力を実践的に高める。 	取組
10		教科書 演習ノート	B	<ul style="list-style-type: none"> 実際に小論文を執筆して文集にまとめると同時に、他者との相互批評をとおして問題意識や認識を深める。 執筆以前の調査や研究の流れを理解し、集めた情報を適切に整理した上で、実際にレポートを書く。 	取組 提出
11	会話・会議・発表	教科書 演習ノート	A B C	<ul style="list-style-type: none"> 書きことばと話しことばの相互変換作業によって、効果的なコミュニケーション技能に習熟する。 家族会議の記録を題材に、意思決定・合意形成のための方法やルールについて理解を深める。 話しことばの対面コミュニケーションとしての特長を生かした表現技術を学び、効果的な情景の提示方法などについても習熟する。 多数決という意思決定の原理について確認する。 	
12	自己との対話	教科書 演習ノート	A B	<ul style="list-style-type: none"> 年譜作成をとおして、時代や社会の動きと自己の体験を対比し、その関係について考える。 モノに付着している「記憶」＝物語を読み取る。 過去の体験に結びつく材料を通して、埋もれていた「記憶」を言語化する。また、ズームアップ7の学習を通じて、自分の過去を記録することについての考えを深める。 ルソー『告白』を読み、自分史を書くことの意義と方法について考え、理解を深める。 自分史を読み合い、相互批評する。 	取組 提出
1	世界との対話	教科書 演習ノート	A B C ★	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な手紙の形式を学び、場面に応じたことばの意味について理解を深める。 形式にとらわれない手紙を書くことで、表現の可能性について考える。また、自分らしい手紙の姿を探る。 面接における必要な心構えと技能を身につける。 自己分析を行い、自己演出を意識して面接という場面における表現のあり方について理解を深めるとともに、表現方法を工夫する。 社会の問題に目を向け、実際に投書することで、自己のことばを社会に発信する表現行為そのものを実践する。 	取組 提出 発表
2	情報の海を航海する〈メディアのリテラシーへ〉	演習ノート	A B C	<ul style="list-style-type: none"> わたしたちの表現手段には実にさまざまなメディアが存在することを知り、その特性について理解する。 同一の対象についての記事でもその表現内容に違いが現れることを理解し、メディアが立場の違いをメッセージに反映させていることを理解する。 情報を発信する場合には、読み手が理解しやすいようにメディアの特性を生かした編集上の工夫が必要であることを理解し、実際に表現してみる。 	取組 発表

令和5年度 現代文B シラバス

科目	単位数	指導学年	使用教科書
現代文B	2単位(70時間)	3学年	東京書籍 『精選現代文B』Ⅱ部
科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。	普通科	

月	単元名	主な単元の目標 (評価規準)	教材	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等
				A (話すこと・ 聞くこと)	B (書くこと)	C (読むこと)		関心・ 意欲・ 態度	話す・ 聞く能力	書く能力	読む能力	知識・ 理解	
4	一 評論(一)	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方のおもしろさを味わい、評論文の魅力を確認する。 ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。(学習指導要領ア) ・文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。(学習指導要領ウ) ・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。(学習指導要領エ) 	文学の未来			4	筆者の述べる、テキストと読み手の関係について考え、読書における「他者」の発見についての筆者の考えを読み取る。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
			言語と記号			4	筆者が記号に与えている定義を読み取り、言語が持つ「文化形成能力」とはどのようなものかを読み取ることができる。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
5・6・7	二 小説(一)	<ul style="list-style-type: none"> ・名作と呼ばれる作品にふれることで、日本文学の豊かさを理解し、小説の持つさまざまな魅力を再認識する。 ・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。(学習指導要領イ) ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。(学習指導要領オ) 	檸檬 文学への扉			4	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりする。特に、反リアルズム小説の面白さを味わう。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
			スペインタイルの家			4	登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。物語の展開を理解し、小説のおもしろさを味わう。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査
9・10	三 評論(二)	<ul style="list-style-type: none"> ・解説文における例示の効果に留意しながら、論理的な文章を叙述に即して読む。 ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。(学習指導要領ア) ・文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。(学習指導要領ウ) ・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。(学習指導要領エ) 	環境問題と孤立した個人			8	発想の転換から導かれる論理展開を正確に理解する。筆者の問題意識に対して自分自身に引きつけ、考えを深める。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
			鏡の中の現代社会			6	文章の構成における具体例や比較の方法などに留意して、筆者の主張や内容をとらえる。特に、現代社会というものについて、考えを深める。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・定期考査
9・10	四 随想	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。(学習指導要領イ) ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。(学習指導要領オ) 	クレールという女			3	随想を読み、そこに書かれた内容を表現に即して的確に読み取る。時代を経て、筆者が『人間のしるし』をどう考えたかをとらえる。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・暗唱 ・鑑賞文 ・定期考査
			言葉を生きる			3	随想を読み、そこに書かれた内容を表現に即して的確に読み取る。筆者が悲しみをどうとらえているかを読み取る。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・暗唱 ・鑑賞文 ・定期考査
9・10	五 評論(三)	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的・概念的な用語や表現を理解し、そのような表現と具体的な現実との対応を考えながら読み進める能力を身につける。 ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。(学習指導要領ア) ・文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。(学習指導要領ウ) ・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。(学習指導要領エ) 	社会の壊れる時			6	現代社会への問題意識としてユニークな視点をもった文章を読み、的確に理解するとともに、感受性や思考性を鍛える。	○	○		◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・定期考査
			平気—正岡子規			4	高浜虚子が選んだ子規の俳句の特徴と子規像、それに対して大岡信の選んだ俳句の特徴とそれを通して浮かび上がる新たな子規像を理解している。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・定期考査
11	六 小説(二)	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容や形態に応じた表現上の特色、文体の特徴などに注意を払い、その効果などを理解できる力を養う。 ・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。(学習指導要領イ) ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。(学習指導要領オ) 	舞姫			10	登場人物の人物像、心情の推移を的確に把握する。豊太郎の下した「決断」を通して、自分自身であればどのような決断を下したかと思えることができる。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査
12	七 評論(四)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例の提示の仕方と考察の進め方との関係、全体の構成をとらえ、評論文の特徴について理解を深める。 ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する。(学習指導要領ア) ・文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。(学習指導要領ウ) ・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。(学習指導要領エ) 	他者の声 実在の声			6	「言語の内」「言語の外」という対比の意味を理解し、「他者性の問題」と「実在性の問題」について理解している。	○		○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・作文 ・定期考査
1・2	八 小説(三)	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章を読み、味わうことを通じて、ものの見方、感じ方、考え方を深め、人生を豊かにする態度を身につける。 ・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。(学習指導要領イ) ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。(学習指導要領オ) 	トランジット			8	登場人物の心情描写を読み取り、人とかかわりどう生きていくべきかについて考えることができる。	○	○	○	◎	○	・観察(発言・発表) ・ノート ・感想文 ・定期考査

令和5年度 古典B シラバス

科目	単位数	学年
古典B	2単位	普通科 3年2・3組

1 学習の到達目標など

学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材など	『精選古典B 改訂版』（三省堂）

2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

3 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

第 1 学 期								
月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	
4	清少納言 「枕草子」	5	筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとする。	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとしている。	行動の観察 行動の分析 記述の確認 記述の点検
					読む能力	筆者の美意識や機知を読み取る。	筆者の美意識や機知を読み取っている。	
					知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	
					5	「不顧後患」	3	
読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	登場人物の考え方を読み取っている。						
知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。						
6	「不死之薬」	3	話の展開を整理し、登場人物の言動などを的確に読み取り、話のおもしろさを味わう。 学習指導要領の指導事項 イ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	話の展開を読み取り、登場人物の言動の意図や心情について考えようとする。	話の展開を読み取り、登場人物の言動の意図や心情について考えようとしている。	行動の観察 行動の分析 記述の確認 記述の点検
					読む能力	登場人物の言動の意図を読み取る。	登場人物の言動の意図を読み取っている。	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	
					7	「三国志」の世界	7	
読む能力	登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取っている。						
知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。						
7	紫式部 「源氏物語」	8	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。 学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。				関心・意欲・態度
					読む能力	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。	
					知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	

第 2 学 期

月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	
9	藤原道綱母 「蜻蛉日記」		作者の生活や心情を読み取るとともに、当時の社会制度や平安女流日記文学の特徴を理解する。	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして	関心・意欲・態度 読む能力	作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとする。 作者の立場を理解し、その心情を読み取る。	作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。 作者の立場を理解し、その心情を読み取っている。	行動の観察 記述の確認
			学習指導要領の指導事項 ウ		知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検
10	段成式「葉限」	5	話の展開を的確に読み取るとともに、登場人物の心情を理解し、話のおもしろさを味わう。	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	関心・意欲・態度 読む能力	話の展開をつかんでおもしろさを味わい、登場人物の心情などについて考えようとする。 登場人物の人間像と心理の動きを読み取る。	話の展開をつかんでおもしろさを味わい、登場人物の心情などについて考えようとしている。 登場人物の人間像と心理の動きを読み取っている。	行動の観察 記述の確認
			学習指導要領の指導事項 イ		知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検
11	「大鏡」	8	歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度 読む能力	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとする。 登場人物の人間関係や心情を読み取る。	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。 登場人物の人間関係や心情を読み取っている。	行動の観察 記述の確認
			学習指導要領の指導事項 ウ/オ		知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 基本的な敬語法について理解する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。 基本的な敬語法について理解している。	記述の点検
	司馬遷「史記」	8	話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度 読む能力	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。 話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取る。	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。 話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。	行動の観察 記述の確認
			学習指導要領の指導事項 ウ/エ		知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検
12	紀貫之「古今和歌集仮名序」	3	歌論を読み、筆者の和歌に対する感じ方や考え方を理解する。	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度 読む能力	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとする。 筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取る。	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとしている。 筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取っている。	行動の観察 記述の確認
			学習指導要領の指導事項 ウ/エ		知識・理解	和歌や歌論の文学史的事項を理解する。	和歌や歌論の文学史的事項を理解している。	記述の点検
	源俊頼「俊頼髓脳」	5	歌論で扱われている和歌の修辞法について理解する。	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度 読む能力	和歌の修辞法に興味を持ち、理解しようとする。 沓冠折句の技法を踏まえて和歌を鑑賞する。	和歌の修辞法に興味を持ち、理解しようとしている。 沓冠折句の技法を踏まえて和歌を鑑賞している。	行動の観察 記述の確認
			学習指導要領の指導事項 ア/ウ		知識・理解	沓冠折句の技法をはじめ、和歌の修辞法を広く理解する。	沓冠折句の技法をはじめ、和歌の修辞法を広く理解している。	記述の点検

第 3 学 期

月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法
1	世阿弥「風姿花伝」	4	能楽論に示された筆者の主張を読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深め、視野を広げる。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察
					読む能力	筆者の人生観や人間観を読み取る。	筆者の人生観や人間観を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
2	柳宗元「捕蛇者説」	4	筆者の論旨を的確に理解し、自己のものの見方や考え方を豊かにする。 学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとする。	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとしている。	行動の観察
					読む能力	筆者が考える幸福と政治の本質を読み取る。	筆者が考える幸福と政治の本質を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
					知識・理解	唐宋八大家について理解する。	唐宋八大家について理解している。	記述の点検

【課題・提出物など】

- ① 授業で使ったプリントやワークシート
- ② 授業で作成した資料や制作物など
- ③ 授業ノート

【評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価します。
- ② 学期全体の評定は、考査の成績 70%、提出物小テスト、学習活動への参加の姿勢や態度 30%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「読む能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

<p>確かな学力を身につけるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典B」は「国語総合」での古文・漢文の基礎を発展させる科目です。授業でさまざまな古典の文章を読むことをとおして、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにします。また、語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。 ・本文をノートに写し、わからない語句は辞典を使って調べておきます。口語訳まで自力でやることを予習とするよう習慣づけましょう。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。特に文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。
<p>授業を受けるにあたって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。

令和5年度 古典探求 シラバス

科目	古典探求	単位数	3 単位	学年	普通科 3年2・3組
使用教科書	なし		副教材	なし	
学習の到達目標	1 大学入試共通テスト対策の問題演習を通して、大学入試共通テストに対応する学力を養う。 2 古典に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情の読み取りなどを通して、国語についての認識を高め、言語感覚を養う。 3 優れた表現に親しみ、古典文学の世界と現代世界のつながりを感じ取る。 4 古典に表れたその時代の思想や感情に触れ、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにするとともに、古典に親しむ態度を身に付ける。				

評価観点	関心・意欲・態度 (A)	古典を読む力を進んで育てるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。
	読むこと (B)	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして自分の考えを深め、発展させている。
	知識・理解 (C)	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身に付けている。

3年〔古文編〕

学期	月	単元	時間	教材	学習活動のポイント	評価の観点			評価方法の観点								
						A	B	C									
一学期	4月		9	演習問題	・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。／・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。	○	○	○	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績								
										5・6月	24	演習問題	・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。／・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。	○	○	○	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
一学期	9・10月		18	演習問題	・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。／・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。	○	○	○	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績								
										10・11月	18	演習問題	・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。／・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。	○	○	○	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績
1月・2月	15	過去問題 今年度問題	・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。／・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。	○	○	○	授業の取り組み姿勢 テキストの音読 応答と発問 意見発表の意欲と的確さ 予習・復習と課題の提出 ノートの整理 小テスト・定期考査の成績										

令和5年度 国語表現 シラバス

教科	国語	単位数	2単位	学科・学年・コース・組	普通科3年2・3組
使用教科書	『国語表現 改訂版』（教育出版）				
副教材等	『国語表現 改訂版 演習ノート』（教育出版）、『国語必携パーフェクト演習 三訂版』（尚文出版）、				

1 学習の到達目標

- ①「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れたうえで、「読むこと」との関連も視野に入れ、適切に表現する力を育成し、伝え合う力を高めるための、表現する側と表現される側と双方からの立場での実践的なコミュニケーション学習を中心に、高等学校でのすべての学習を支える基礎力を養う。
- ②伝え合う力を高めるための実践的なコミュニケーションを想定した学習を中心に、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、すすんで表現する態度を身につけ、社会性を高める。

2 授業の内容と学習法

- 書き取り・聞き取りをメモにまとめる、要約など、最も基本的な言語能力の確認。
 - 発音・発声から、スピーチ、プレゼンテーション、その場に応じた会話・発言や発表など、実践的な「話すこと・聞くこと」に関する言語表現の訓練と学習。
 - コラム、小論文やレポート、自分史、手紙など、実践的な「書くこと」に関連する言語表現の訓練と学習。
 - ことば遊びや川柳・広告コピーなど、身近な題材から広がる言語表現を、より深める訓練と学習。
 - 会議、面接など、具体的な場を想定した適切な言語表現を、より深める訓練と学習。
 - 情報を入力し、適切に使いこなし、それを活かす方法の訓練と学習。
 - 日本語の基礎となる言語表現の方法・能力・知識に関する学習。
- 以上の内容を、主として講義と実習を通して学習するが、適宜作品応募を通して自己の表現力を向上させる取り組みを行う予定である。

3 評価の視点・考査について

- 評価は、提出物を中心に、出席状況や授業への取り組み状況（関心・意欲・態度）、発言や提言などを総合的に判断して行う。
- 作品応募を前提とした課題を課す予定である。提出物は期限厳守とする。

評価の観点及び内容	評価方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、すすんで表現したりするとともに、伝え合おうとしているか。 ・課題に積極的に取り組み、また、人の発言をよく聞くとともに、自分の考えを発言しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への出席状況 ・取り組み態度 ・発言の意欲とその内容 ・提出物
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に「話すこと・聞くこと」の学習に取り組んでいるか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて効果的に話したり的確に聞き取ったりできたか。 ・「スピーチ」「プレゼンテーション」といった活動に参加し、決められた役割をこなして成果をあげることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み態度 ・発言の仕方や内容 ・レポート ・音読や朗読など ・自己評価と相互評価
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に「書くこと」の学習に取り組んでいるか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができるか。 ・「コラム」「小論文」「レポート」「自分史」「手紙」などといった課題を完成できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み態度 ・定期考査 ・レポート、作品等提出物 ・自己評価と相互評価
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に「読むこと」の学習に取り組んでいるか。 ・文章を読むことによって、より適切な表現をするために、自分の考えをまとめたり深めたりすることができるか。 ・文章サンプル集等や実際に読むことを通じて、表現力を高めることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読や発言 ・提出物 ・自己評価と相互評価
知識	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけることができるか。 ・特に、漢字や語句に対する理解を広げることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み態度 ・提出物

4 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと ★〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

月	単元名	教材	領域	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	主な評価方法
4	オリエンテーション・自己紹介		A	<ul style="list-style-type: none"> 客観的に自己を見つめ、他者に伝えるように説明をする。 相手の話を聞き、相手を理解する。 	発表
	ことばに変える	教科書 演習ノート	B	<ul style="list-style-type: none"> 速く正確に、書かれたとおりに書き写す／聞いた通りに書き取る メモを取る／メモで伝える／適切なメモ 絵をことばにする／絵をことばに変える／部屋の間取りをことばに変える 	発表 提出
5		教科書 演習ノート	A B	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」の中でも最も基礎的な「視写」「聴写」を行い、自己の表現能力の実態を把握する。 情報を取捨選択し、整理・記録する為の基本的な技術を確認する。 絵や部屋の間取りをことばに変える作業を通して、ことばによる表現の可能性と限界を理解する。 	発表 提出
	声の表現	教科書 演習ノート	A ★	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸の仕組みと腹式呼吸の方法について理解し、発音に留意した声の出し方を学ぶ。 声を発することの本質について深く考える。 文の構造を把握し、その意味を伝える音読の仕方、特に声の高低や間の工夫について学ぶ。 古文の読み方についても基本となる留意事項を理解する。 スピーチのための事前準備について理解し、実際に本番を体験することで、その方法を学ぶ。 他者の興味関心をひく文章の紹介と朗読の工夫について習熟する。 	取組 発表
6	コラムを書く、本を作る	教科書 演習ノート	B C	<ul style="list-style-type: none"> 他者を喜ばせる文章の特性を知る。 コラムを読み、文章の魅力と効果的な手法を見つける。 よりよい文章表現を工夫し、コラムを書く。 基礎的な推敲の方法について理解する。（悪文チェック） 「17歳のメッセージ」等への応募 	取組 提出 作品応募
7	ことば遊びと創作	教科書 演習ノート	A B C ★	<ul style="list-style-type: none"> 様々なことば遊びの体験を通して、言語表現の多様な側面を理解し、またその楽しさを知る。 川柳という伝統的な文芸ジャンルについて理解を深めるとともに、実作を通して、ことばの持つ批評性を知る。 情報化社会における広告の意味とその特徴を理解し、「広告コピー」を作成することで、情報を客観的にとらえ、批評的に読み取れることを学ぶ。 古典文学への誘いとして、俳句の季語を著名な句の鑑賞とともに学び、創作・作品応募する。 	制作 提出
9	ことばと人間	教科書 演習ノート	A B C	<ul style="list-style-type: none"> ことばのもつ順序性からことばの性質について考える。 単語の順序が意味決定を左右することを理解する。 場面における意味決定について理解する。 語源カードを作成し、辞書・辞典を使って語源調べを行う。 挨拶や待遇表現のことばが人間関係の調整にどのように働いているか考える。 ことばの可能性と危険性についてさまざまな角度から考える。また、ことばが人間の命を左右するほどの力を持つことを理解する。 	取組 発表
	小論文・レポートを書く	教科書 演習ノート	B	<ul style="list-style-type: none"> 発想・着想段階における拡散的思考を体験的に学ぶ。 根拠を明確にし、意見に説得力を持たせるとともに、対立意見を想定しながら、自らのそれを明確にし、論証の確かさを鍛える。 小論文の構成について理解し、論理的文章力を実践的に高める。 	取組
10		教科書 演習ノート	B	<ul style="list-style-type: none"> 実際に小論文を執筆して文集にまとめると同時に、他者との相互批評をとおして問題意識や認識を深める。 執筆以前の調査や研究の流れを理解し、集めた情報を適切に整理した上で、実際にレポートを書く。 	取組 提出
11	会話・会議・発表	教科書 演習ノート	A B C	<ul style="list-style-type: none"> 書きことばと話しことばの相互変換作業によって、効果的なコミュニケーション技能に習熟する。 家族会議の記録を題材に、意思決定・合意形成のための方法やルールについて理解を深める。 話しことばの対面コミュニケーションとしての特長を生かした表現技術を学び、効果的な情景の提示方法などについても習熟する。 多数決という意思決定の原理について確認する。 	
12	自己との対話	教科書 演習ノート	A B	<ul style="list-style-type: none"> 年譜作成をとおして、時代や社会の動きと自己の体験を対比し、その関係について考える。 モノに付着している「記憶」＝物語を読み取る。 過去の体験に結びつく材料を通して、埋もれていた「記憶」を言語化する。また、ズームアップ7の学習を通じて、自分の過去を記録することについての考えを深める。 ルソー『告白』を読み、自分史を書くことの意義と方法について考え、理解を深める。 自分史を読み合い、相互批評する。 	取組 提出
1	世界との対話	教科書 演習ノート	A B C ★	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な手紙の形式を学び、場面に応じたことばの意味について理解を深める。 形式にとらわれない手紙を書くことで、表現の可能性について考える。また、自分らしい手紙の姿を探る。 面接における必要な心構えと技能を身につける。 自己分析を行い、自己演出を意識して面接という場面における表現のあり方について理解を深めるとともに、表現方法を工夫する。 社会の問題に目を向け、実際に投書することで、自己のことばを社会に発信する表現行為そのものを実践する。 	取組 提出 発表
2	情報の海を航海する〈メディアのリテラシーへ〉	演習ノート	A B C	<ul style="list-style-type: none"> わたしたちの表現手段には実にさまざまなメディアが存在することを知り、その特性について理解する。 同一の対象についての記事でもその表現内容に違いが現れることを理解し、メディアが立場の違いをメッセージに反映させていることを理解する。 情報を発信する場合には、読み手が理解しやすいようにメディアの特性を生かした編集上の工夫が必要であることを理解し、実際に表現してみる。 	取組 発表